

I 平成 26 年度事業報告書

1 庶務に関する事項

(1) 理事会の開催

- 第 1 回 ○日時 平成 26 年 5 月 22 日(木)
○場所 ルポール麹町 3 階オパールの間
東京都千代田区平河町 2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 25 年度事業報告及び決算を決定する件
・基本財産から 2 千万円を取り崩すことを承認する件
・次回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件
- 第 2 回 ○日時 平成 27 年 3 月 23 日(月)
○場所 ルポール麹町 3 階アメジストの間
東京都千代田区平河町 2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 27 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを決定する件
・次回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等を決定する件

(2) 評議員会の開催

- 第 1 回 ○日時 平成 26 年 6 月 9 日(月)
○場所 ルポール麹町 3 階オパールの間
東京都千代田区平河町 2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 25 年度事業報告及び決算を決定する件
・基本財産から 2 千万円を取り崩すことを承認する件
- 第 2 回 ○日時 平成 27 年 3 月 23 日(月)
○場所 ルポール麹町 3 階アメジストの間
東京都千代田区平河町 2-4-3
○議題 次の議案を審議、決議しました。
・平成 27 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備

- 投資の見込みを決定する件
- ・評議員 1 名を選任する件

2 事業活動

(1) はじめに

当協会は、昭和 59 年に創立されて以来、30 年余にわたり組織の変遷をへつつも、継続して視覚障害者や高齢者など日常生活にハンディを負った人々に対し、日々の食生活を営む上で必要とされる情報をお届けするため、様々な活動を展開してまいりました。また、平成 17 年に食育基本法が制定されてからは、「食育」の推進にも積極的に取り組んでおります。

平成 26 年度においては、従来の活動の成果を踏まえつつ事業内容の見直しを図り、高齢者や視覚障害者等への食生活に関する知識と情報の提供、食生活環境のバリアフリー化及び食育に関する事業を推進してまいりました。

まず、食生活に関する情報提供の事業として、協会創立以来継続している視覚障害者向けの月刊「声の食生活情報」の制作、配布を行いました。また、随時提供する食生活情報として、「日本のコナモン」を紹介する CD 等を作成、配布いたしました。

また、食生活環境のバリアフリー化を推進するため、視覚障害者向けに「岸朝子の旬の食材で簡単料理」の作成・配布及び「みんなでミートクッキング」の増刷と料理教室を開催しました。加えて、視覚障害者の食生活の実態及び食材の調理と試食による評価を調査・提供して、食品企業・団体に対応を促す取り組みを行いました。

さらに、食育の推進に関する事業としては、国から補助金を得て視覚障害者が健全な食生活を享受できるよう、農産物の生産現場から食卓にいたるまでのフードチェーン全般の理解を促進するための実践事業を行うとともに、シニア世代を対象にした食育セミナーや牛乳・乳製品を用いた料理教室の開催、即席めんを食材とした料理教室とアンケート調査を実施しました。また、「シニア世代食育推進協議会」の事務局として、会員企業と協力してシニア世代の食生活の改善に取り組みました。

なお、平成 26 年度は、当協会が設立されて 30 周年に当たることから、10 月 10 日に法曹会館において、記念式典と食生活自立体験コンクールの表彰式を行い、多数の方々にご参会を頂きました。

(2) 事業の内容

1) 視覚障害者への音声による食生活に関する情報の提供

① 月刊「声の食生活情報」

視覚障害者向けに食生活に関する知識と情報を録音した月刊「声の食生活情報」を制作し、希望に応じ、カセットテープ又はデイジー(デジタル録音図書国際標準規格)対応のコンパクトディスク(CD)の形で、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、社会福祉協議会、視覚障害者個人などに提供しました。この制作、発送に当たっては、多くのボランティアの方々のお世話になっています。

〔(公財)飯島藤十郎記念食品科学振興財団助成事業〕

〔(一社)日本フードサービス協会助成事業〕

② ホームページによる食生活情報の提供

毎日の食事の献立のヒントとなるレシピを当協会のホームページ「すこやか食生活ネット」で多数紹介しています。料理の写真を掲載し、作り方などを音声で聴くことができます。

また、ホームページでは、当協会が作成した資料をダウンロードできるようにしてあり、実施中の事業の紹介や食生活に関する様々な情報の提供も行っています。

○「すこやか食生活ネット」 URL : <http://www.sukoyakanet.or.jp/>

③ 随時提供する食生活情報(小麦粉消費啓発のCD作成)

賛助会員の協力により、日本各地の粉料理と小麦粉を使用したお手軽レシピ「日本のコナモンってこんなにあるんだ」を、デイジー対応のCDに収録・作成し、「声の食生活情報」を通じて全国に紹介、全国の点字図書館、盲学校、盲人援護施設、盲人福祉協議会施設、希望のあった視覚障害者に提供するとともに、「すこやか食生活ネット」でも提供しました。

〔(株)日清製粉グループ本社助成事業〕

2) 食生活環境のバリアフリー化の推進

① 食生活改善に関する解説書の作成

視覚障害者が自立したよりよい食生活を営むための実践の手引きとして、食生活ジャーナリストの岸朝子氏が、毎月2種類の旬の食材とそれにまつわる日本の食文化を紹介し、その食材を用いて簡単にできる調理法を解説した「岸朝子の『旬

の食材で簡単料理』を作成しました。視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字をのせ音声コードを付けた使い勝手のよいものとなりました。

〔(一財)日本宝くじ協会助成事業〕

② 視覚障害者への食肉情報提供

シニア層の多い視覚障害者は、購買行動の不便さもあって、高齢者に一般的な動物性たん白質(食肉)の摂取不足がより大きな課題となっており、また、日常的に入手・利用できる調理レシピは非常に少ない状況にあります。このため、視覚障害者本人が利用できるよう、大活字に透明点字を載せ音声コードを付けた食肉(牛肉及び豚肉)を利用した作りやすい料理レシピカード集「みんなでミートクッキング」を作成するとともに、それを教材として料理教室を開催し、視覚障害者に豊かでより望ましい食生活を享受できる環境の整備を図りました。

レシピカード集は、全国の社会福祉協議会等の施設に配布するとともに、当協会が発行している視覚障害者向け月刊「声の食生活情報」を通じて全国に紹介し、希望者に配布しました。

〔(公社)日本食肉協議会助成事業〕

③ 食生活改善に資する調査とその広報

視覚障害者の食生活を安全で豊かなものとするため、声の食生活情報の利用者等を対象として視覚障害者の食生活の実態及び食材の使い勝手を調査しました。調査結果は、声の食生活情報などを通じて公表するとともに、明らかになった課題について理解と協力を得るよう、食品関係企業・団体や報道機関に対し、説明会などを通じ働きかけるとともに視覚障害者間での情報の共有を図っています。

3) 食育の推進

① 視覚障害者が健康で健全な食生活を享受するための食育の推進

視覚障害者が健康で健全な食生活を享受するため、食品の生産から食卓に至るまでのフードチェーン全般にわたる系統的な理解を促進するための食育活動の実践として、農業現場体験、収穫体験した農産物を利用した料理教室及び現場体験した農産物や食の安全安心に関する学習会を行うとともに、その状況を音声版CDに編集し視覚障害者や関係団体に配布しました。

〔農林水産省補助事業〕

② シニア世代のための食育セミナーの開催

シニア本人と家族、地域社会、食に係わる企業・団体が分担・連携して、シニア世代の食生活に関する課題に対応し、食生活環境を改善するため、様々な食に関する知識・手法を各分野の専門家から紹介いただく市民講座を開催しました。

〔(公社)日本フードスペシャリスト協会助成事業〕

③ シニア料理教室の開催

高齢者を対象にして、牛乳・乳製品を使った栄養バランスの良い新しいメニューの普及とそれを通じた牛乳・乳製品の持続的な消費拡大を図るための料理教室を首都圏各地において開催し、牛乳が、飲料としてだけでなく、料理の素材としても優れた食品であることの認識を広めるよう努めました。

〔関東生乳販売農業協同組合連合会助成事業〕

④ 即席食品の正しい知識の普及

調理が簡便で買い置きしやすい即席食品は、日常の食生活にハンディを抱えがちな高齢者や障害者にとって便利な食品です。その正しい知識を身につけてもらうとともに、使い勝手を良くするための要望を汲み上げることが目的として、高齢者を対象とする料理講習会及びアンケート調査を実施しました。調査結果については、業界団体を通じて広く関係企業に周知を図り、今後の製品の改善に役立てていただくこととしています。

〔(一社)日本即席食品工業協会助成事業〕

⑤ シニア世代食育推進協議会による食育実践活動の推進

シニア世代の食育に関連する企業・団体が連携・協力して食育推進にあたるシニア世代食育推進協議会(会長 柴田博氏(当協会理事))の事務局の運営を当協会が担っており、協議会が実施する事業のコーディネートを行うとともに、会員相互の連携・情報交換を進めることにより、シニア世代の食生活改善に寄与しています。

26年度は、味の民芸フードサービス株式会社と共同して、高齢者の食生活の課題に対応するため、外食店利用者を対象とした学習会と食事を組み合わせたワークショップを開催しました。

〔シニア世代食育推進協議会事業〕

4) 創立 30 周年記念行事その他

① 創立 30 周年記念行事

当協会は、その前身である視覚障害者食生活改善協会が昭和 59 年に創立されて以来、平成 26 年度で 30 周年を迎えました。これを記念して、創立 30 周年記念式典及び視覚障害者の食生活自立体験に関するコンクールを実施しました。

② 「平成 25 年度食料・農業・農村白書のあらまし」音声紹介版の作成

農林水産省の公募に応じ、視覚障害者に平成 25 年度食料・農業・農村白書の内容を紹介し理解していただけるよう、白書のあらましを収録した音声テープ及びデージー版 CD を作成し、点字図書館、盲学校、視覚障害者団体等に配布しました。

〔農林水産省公募請負事業〕

③ 視覚障害者選挙情報支援プロジェクトへの参加

平成 26 年 12 月に実施された第 47 回衆議院通常選挙において、日本盲人福祉委員会視覚障害者選挙情報支援プロジェクトに参加し、神奈川県選挙管理委員会の依頼により、全文音声版「比例代表選出議員選挙のお知らせ」及び「最高裁判所裁判官国民審査のお知らせ」を作成しました。

〔神奈川県選挙管理委員会請負事業〕

3 事業等の実施経過

年 月	事 項
平成 26 年 4 月	声の食生活情報 4 月号発行
5 月	1 第 1 回理事会開催 2 声の食生活情報 5 月号発行 3 「シニア世代食育推進協議会」総会開催
6 月	1 声の食生活情報 6 月号発行 2 第 1 回評議員会開催 3 シニア料理教室（川崎市多摩区） 4 日本盲人社会福祉施設協議会全国大会参加
7 月	1 声の食生活情報 7 月号発行 2 シニア料理教室(大田区) 3 「みんなでミートクッキング」配布 4 視覚障害者の食生活調査(アンケート送付)
8 月	1 声の食生活情報 8 月号発行 2 視覚障害者の食生活自立体験コンクール選考委員会 3 食肉料理教室(川崎市宮前区)
9 月	1 声の食生活情報 9 月号発行 2 食肉料理教室(横浜市旭区) 3 高齢者の即席めん料理教室(川崎市多摩区、足立区) 4 平成 25 年度食料・農業・農村白書のあらまし音声版配布
10 月	1 声の食生活情報 10 月号発行 2 創立 30 周年記念式典・懇親会開催（法曹会館） 3 高齢者の即席めん料理教室(さいたま市中央区) 4 農業現場体験(つくば市)（2 回実施） 5 高齢者の食育教室(多摩市、味の民芸共催)
11 月	1 声の食生活情報 11 月号発行 2 シニア料理教室（千代田区、中央区） 3 農業現場体験(つくば市)（3 回実施） 4 視覚障害者食育学習会(船橋市、横浜市旭区) 5 高齢者の食育教室(国分寺市、武蔵野市、味の民芸共催) 6 シニア食育講座(港区) 7 高齢者の即席めん料理教室(ふじみ野市) 8 食肉料理教室(所沢市)

12月	<ul style="list-style-type: none"> 1 声の食生活情報 12月号発行 2 視覚障害者の食生活調査(アンケート送付) 3 視覚障害者料理教室(新宿区) 4 視覚障害者選挙情報支援プロジェクト参加
平成27年1月	<ul style="list-style-type: none"> 1 声の食生活情報 1月号発行 2 視覚障害者料理教室(川口市) 3 シニア料理教室(足立区)
2月	<ul style="list-style-type: none"> 1 声の食生活情報 2月号発行 2 「岸朝子の『旬の食材で簡単料理』」発行、配布 3 視覚障害者料理教室(市川市2回)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 1 声の食生活情報 3月号発行 2 第2回理事会及び第2回評議員会開催 3 「日本のコナモンってこんなにあるんだ」発行、配布 4 視覚障害者の食生活調査結果公表・配布 5 視覚障害者の即席めん利用調査報告書発行・配布